

令和3年度 森林税活用事業 実績

区分	令和3年度実施内容	箇所・面積・延長等	補助金額
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			
防災・減災のための 里山等の整備事業	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円 42ha	22,357千円
	【ライフライン等保全対策事業】 集落や主要なライフライン(道路・線路・電線等)に接する森林において、倒木の恐れのある危険木伐採に要する経費を補助	茅野市、下諏訪町 富士見町、原村	6,790千円
県民協働による 里山の整備・利用事業	【みんなで支える里山整備事業】 里山整備地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や搬出間伐等に係る経費について補助	諏訪市北真志野(3年目) 茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	R4予算で 実施
	【里山整備利用地域活動推進事業】 里山整備利用地域において、里山整備活動、森林環境教育、新生産活動、野生鳥獣対策、案内板の設置等に係る経費を補助	諏訪市北真志野(3年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	266千円 336千円 141千円
	【里山資源利活用推進事業】 里山整備利用地域において、資機材の購入、林内歩道の整備等に係る経費を補助	茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 茅野市小泉山(2年目)	150千円 826千円 580千円
	地域で進める 里山集約化事業	間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助	茅野市 1地区
河畔林整備事業	【県単河畔林整備事業】(諏訪建設事務所) 県が管理する一級河川と市町村が管理する準用河川の河畔林整備	準用河川 富士見町母沢川 L=70m	1,350千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			
地消地産による木の香る 暮らしづくり事業	【木工体験活動支援事業、木質空間整備事業】 学校における木工など、県産材利用の取組に係る経費を補助	原村保育園	280千円
		ちのせいぼ幼稚園	140千円
薪によるエネルギーの 地消地産推進事業	【薪によるエネルギーの地消地産推進事業】 里山資源である薪の地域内循環システムの構築に係る経費を補助	NPO法人 八ヶ岳福祉農園	872千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			
森林の教育利用の 推進事業	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備や、学校林を利用した活動に係る経費を補助	茅野市(永明小) 1.5ha	412千円
観光地における 景観形成のための 森林等の整備事業	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助	岡谷市(御野立公園)0.04ha	840千円
		諏訪市(神宮寺)0.22ha	445千円
		茅野市(御射鹿池)1.00ha 富士見町(富士見高原)0.42ha	836千円 1,267千円
【観光地の周辺における街路樹整備事業】 (諏訪建設事務所) 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施	(主)岡谷茅野線 岡谷市(湊～石舟渡) 街路樹剪定工 L=2.0km N=154本	4,000千円	
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			
森林づくり推進支援金	森林に関する様々な課題解決のための市町村独自の取組に対する支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,293千円 1,387千円 1,874千円 751千円 1,027千円 540千円
合 計			49,186千円

○令和3年度 みんなで支える里山整備事業 実績

(防災・減災のための森林整備)

市町村・地区	間伐方法	樹種	面積	補助金額
【諏訪市】				
四賀(北桑原)	保育間伐	カラマツ等	4.55ha	1,500千円
【茅野市】				
金沢林野	保育間伐	カラマツ等	1.00ha	239千円
中村	保育間伐	アカマツ等	2.18ha	722千円
〃	危険木除去	アカマツ等	79本	1,707千円
安国寺林野	搬出間伐	ヒノキ	4.87ha	2,434千円
【下諏訪町】				
一の沢	保育間伐	カラマツ等	7.30ha	1,795千円
【富士見町】				
瀬沢	保育間伐	カラマツ等	4.29ha	1,028千円
松目	搬出間伐	アカマツ等	14.98ha	12,127千円
瀬沢	搬出間伐	アカマツ等	9.51ha	5,668千円
合計			48.68ha	27,220千円

(ライフライン等保全対策)

市町村	本数	補助金額
茅野市	10本	1,000千円
下諏訪町	12本	890千円
富士見町	91本	4,053千円
原村	12本	847千円
合計	125本	6,790千円

(県民協働による里山整備)

市町村・地区	間伐方法	樹種	面積	補助金額
R3計画箇所は、R4年度に全箇所実施予定				

○令和3年度 地域で進める里山集約化事業 実績

市町村・地区等	面積	所有者数
【茅野市】		
玉川、豊平地区(小泉山)	28.4ha	59人
合計	28.4ha	59人

○令和3年度 県民協働による里山の整備・利用事業 実績

(事業趣旨)

長野県ふるさとの森林づくり条例により認定された「里山整備利用地域」において、地域住民等の主体的な参画による里山整備・利活用の活動を支援

(里山整備利用地域活動推進事業)

市町村・地域	活動内容	補助金額
【諏訪市】		266 千円
北真志野	・原木キノコの栽培、薪の生産活動等 ・ベンチの設置、小学生への森林教育	
【茅野市】		
小泉山体験の森	・地域保全のためのパネル設置	141 千円
信州ビーナスライン沿線	・地元小学生のための自然体験活動	336 千円
計		743 千円

(里山資源利活用推進事業)

市町村・地域	内容	補助金額
茅野市・蓼科高原	間伐体験イベント	826 千円
茅野市・小泉山体験の森	遊歩道整備、情報発信	581 千円
茅野市・永明寺山	林業用ウインチの購入	150 千円
計		1,557 千円



諏訪市・北真志野 活動事例



茅野市・信州ビーナスライン沿線 活動事例

北山小学校 薪作り体験会



薪作り作業の見学



薪割機体験



薪割機体験



非常用かまどベンチで焼き芋作り

八ヶ岳福祉農園 薪作り



伐採



搬出

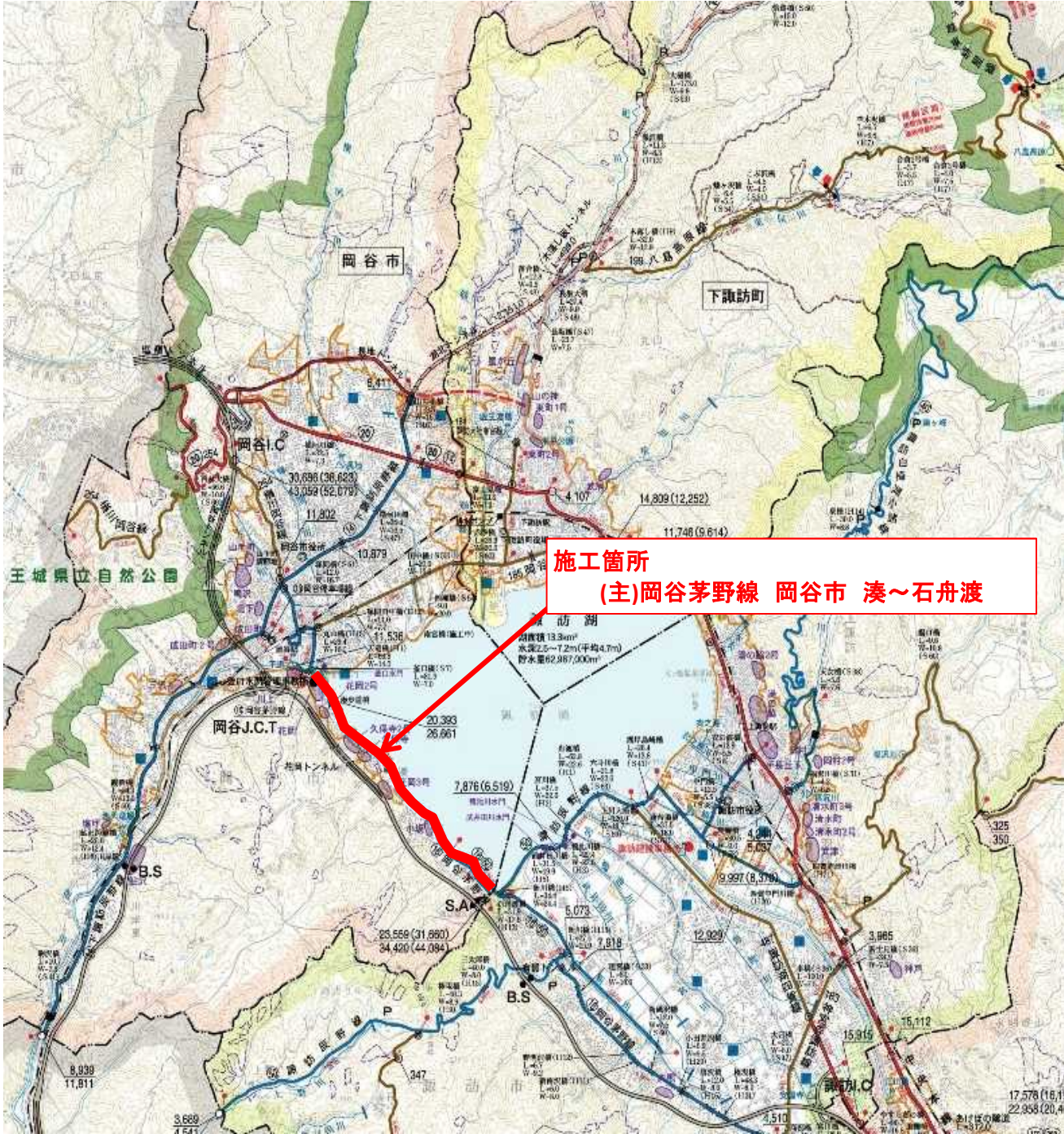


玉切り



薪作り

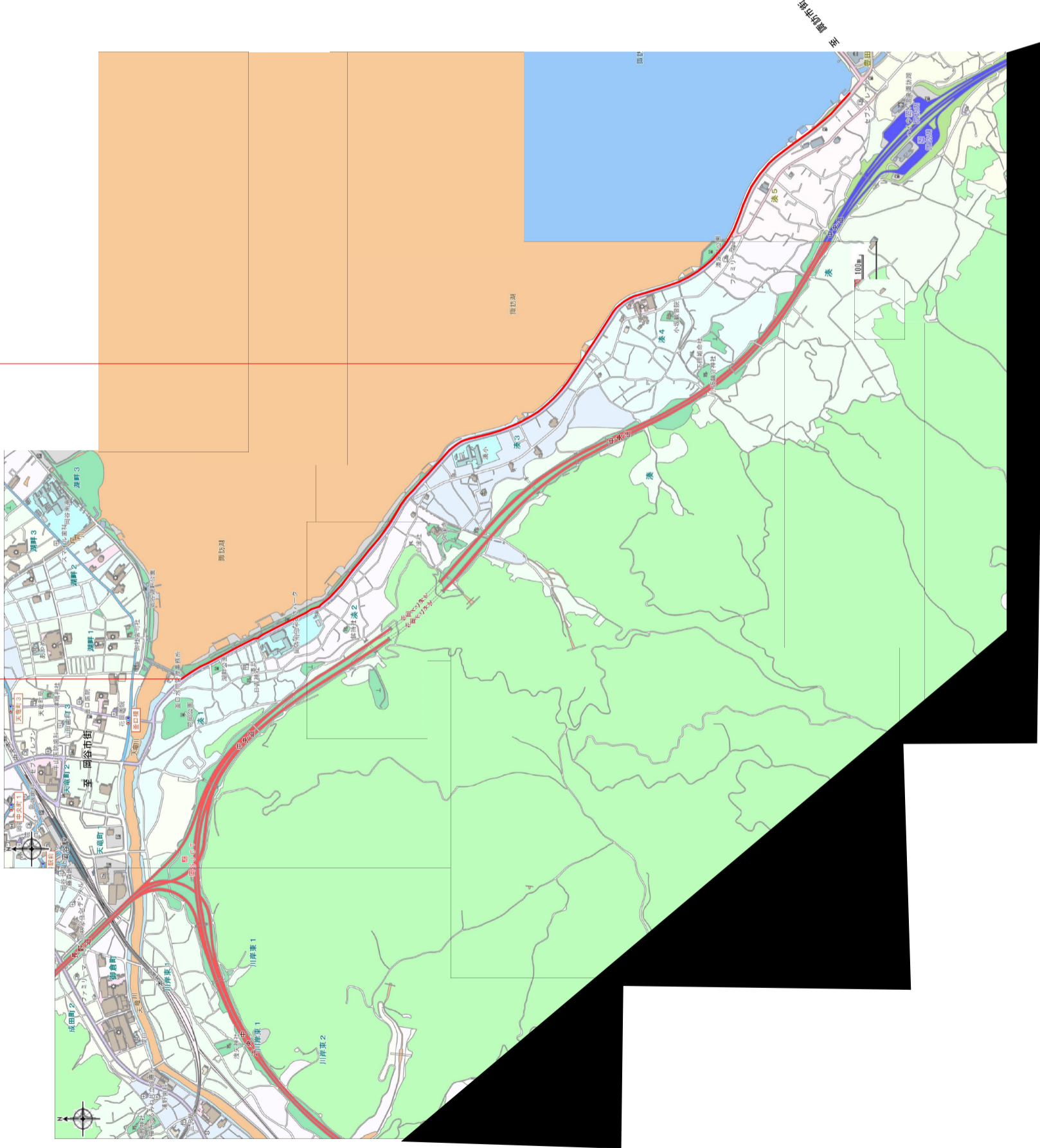
位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。
(認証番号 平成23関複 第215号)

平面図 S=1:10000

樹木剪定工 N=154本



変更区

令和3年度 県道天龍線橋梁維持（歩道美化）工事	
平面図	縮尺 図示
(主) 田代町	
田代町 天龍線～石舟渡	
所 属	課 長
照 査	課 長
図面番号	1 葉中之1
監 訪 建 設 事 務 所	

令和3年9月時点	
現行の事項	無し
関係地権者等との調整事項	有り 無し



着工前



竣工



着工前



竣工

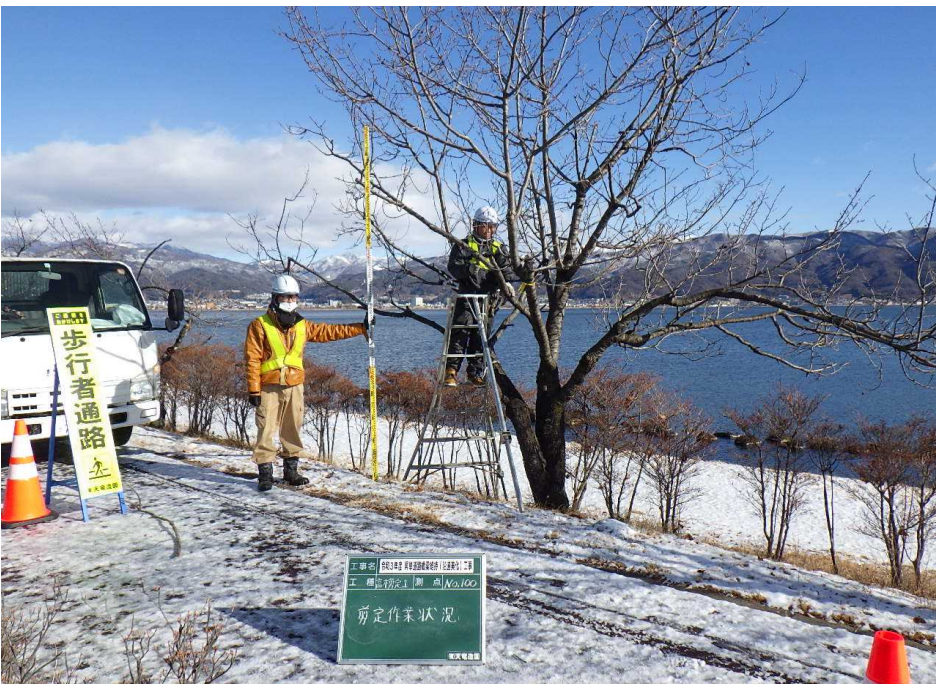


作業状況
てんぐ巣病除去

※てんぐ巣病
カビの一種が原因で発生する伝染病で、病気にかった枝についた葉の裏面に形成された病原菌の胞子が、空気中に飛んで感染する。感染すると枝が異常に発生して、花が咲かなくなる病気。放置しておくと感染した枝はやがて衰弱し、枯死する。



作業状況
剪定作業状況



作業状況
建築限界確認

事業名	八ヶ岳山麓・薪活用推進プロジェクト
事業実施主体	特定非営利活動法人 八ヶ岳福祉農園「薪活用推進プロジェクト」
事業費	総事業費 1,197,614 円、うち県補助金 871,500 円
協力団体等	茅野市立北山小学校、柏原財産区、(株) アイビーハウジング。諏訪森林組合、スカイシープロジェクト、野口良、中島恵理、村山英志(薪游庭)。LCV、WAW MOVIE WORKS、スタジオハロー、ふるさと文化を語り継ぐ会
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 北山小学校・春の遠足における学有林伐木実演：植樹体験 ② 研修講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・北山小学校での薪割機体験講座（2回）・八ヶ岳福祉農園での薪割実習 ③ 情報発信活動等 <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン撮影・LCV-TV番組制作放送・YouTube掲載 ・HP掲載「諏訪の魅どころガイド」（ふるさと文化を語り継ぐ会）
事業成果、良かった点、反省点 今後の改善点など	<p>この活動により薪づくりと活用の有用性についての理解が広範に深まった。特に子ども達の森林への関心とその大切さの理解が深まった。学校においても体験授業を更に継続実施の機運が強まった（2022年5月実施予定）。広く市民に公開講座を予定したがコロナ禍でyoutube配信に切り替えたが、集客するより効果があった。ただし、薪割体験の機会が設けられなかった。</p> <p>今後について 今回と同様に事業を行うには十分な経費と住民参加を得るために困難なことが想定される。小学校からの期待に応えると共に関心のある地域住民の掘り起こしと実施体制の強化を図る必要がある。なお、山麓の森林の映像化（ドローン体験）と都会の子どもが参加する「サマーキャンプの開設」を企画検討中である。</p>

北山小学校 学有林勉強会



学有林の整備をして頂いている方から説明を聞く



伐採作業の見学



間伐の体験



植林の体験

LCV 特別番組製作

LCV TV放映 (計7回)
 3月8日(火) am8:30~、pm7:00~、pm11:30~ ・9日(水) am5:30~
 ・12日(土) am9:30~、pm8:30~ ・13日(日) pm7:00~



番組収録



ご出席頂いた方々



ご出席頂いた方々



ご出席頂いた方々

講師講演 ユーチューブ配信



ユーチューブ番組 (<https://youtu.be/eA9pTKVn6p8>)



ホームページへの掲載



講師 中島 恵理さん



講師 村山 英志さん

「子どもの居場所」木質空間整備事業

1 事業の趣旨

長野県の豊富な森林資源を活かし、子どもの安全・安心な場所となる「子どもの居場所」について、県産材を利活用し施設整備を行うことで、地域の木を使うことが森林整備に繋がることへの理解を深めるとともに、子どもたちが木の香る暮らしの良さを認識することで、将来における県産材利用の意識の醸成と地産地消による森林資源の循環利用を図ることを目的とする。

2 補助の対象となる施設

対象となる施設	不特定多数の者が利用可能な施設で、保育園及び幼稚園その他主として子どもが利用する用途に供する施設並びに子どもに遊び場を提供する施設（以下「子どもの居場所」という。）
代表的な例	保育園、幼稚園、児童センター、子育て支援センター 店舗や飲食店等に設けられるキッズスペース等

※ 「子ども」とは、おおむね12歳以下の者をいう。

3 補助の対象となる事業

(1) 木造・木質化

「子どもの居場所」の木造又は木質化を行うもの

(2) 木の調度品・おもちゃ設置

「子どもの居場所」に木の調度品やおもちゃの設置を行うもの

4 補助の条件

- (1) 整備した場所や取得した製品には「長野県森林づくり県民税」を活用した事業であることを表示するとともに、事業の情報発信を行うこと。
- (2) 事業主体は、今後の県産材の利用拡大施策に資するため、施設利用者へのアンケート調査を実施すること。
- (3) 事業の内容を県ホームページ等で公表できること。
- (4) 県の求めに応じて、県産材の普及啓発のための事例発表会に協力すること。
- (5) 国又は県の他の補助を受けていないこと。
- (6) 長野県内の施設であること。
- (7) 施設利用に当たり利用料を徴収する施設でないこと。
- (8) 宗教的活動を目的とする施設又は場所でないこと。
- (9) 主として県産材を利用し、かつ県内で製造及び販売される調度品・おもちゃを設置すること。

5 事業内容

	実施場所	事業主体	事業内容	事業費	補助金	補助率	実施期間
1	原村保育園 (原村)	原村	砂場の囲いの設置	千円 374	千円 280	3/4 以内	R3.8.18 ～ R3.11.11
2	ちのせいぼ 幼稚園 (茅野市)	学校法人聖リゴリオ学園 ちのせいぼ幼稚園	木の調度品・おもちゃの設置	188	140	3/4 以内	R3.9.7 ～ R3.10.25

6 事業実施状況

(1) 原村保育園（原村） 「砂場の囲い」の設置



(2) ちのせいぼ幼稚園（茅野市） 「木の調度品・おもちゃ」の設置



令和3年度 森林づくり推進支援金 事業実績一覧表

諏訪地域振興局

市町村名	No.	事業 項目 番号	事 業 名	事 業 費 (円)	負 担 内 訳		備 考
					支 援 金 (円)	そ の 他 (円)	
岡谷市	1	1	林業振興事業	584,000	584,000	0	
	2	1	林道等小規模修繕事業	1,131,000	709,000	422,000	
	計		2件	1,715,000	1,293,000	422,000	
諏訪市	1	2	市単林道整備事業	2,200,000	1,387,000	813,000	
	計		1件	2,200,000	1,387,000	813,000	
茅野市	1	1	修景林間整備事業	848,200	848,200	0	
	2	1	茅野市永明寺山公園森林整備事業	1,177,000	1,025,800	151,200	
	計		2件	2,025,200	1,874,000	151,200	
下諏訪町	1	1	林道機能回復事業	1,419,000	608,000	811,000	
	2	2	木製ベンチ作製展示事業	143,000	143,000	0	
	計		2件	1,562,000	751,000	811,000	
富士見町	1	1	松枯損木伐倒処理事業	1,199,000	1,027,000	172,000	
	計		1件	1,199,000	1,027,000	172,000	
原村	1	1	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業①	202,400	202,400		
	2	1	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業②	346,500	337,600	8,900	
	計		2件	548,900	540,000	8,900	
合 計			10件	9,250,100	6,872,000	2,378,100	

注)事業項目番号

- 1:「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業 2:「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業
3:「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	岡谷市
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林業振興事業
2	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	林道等小規模修繕事業
事業費		1,715,000 円 (うち支援金: 1,293,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

<現状> 本市の人工林は、森林資源として利用できる時期にあるので積極的な間伐が必要な状況である。

<課題> 本市は個人所有の森林面積が零細のため、国や県の補助金対象外となり森林が整備されないままとなっている。また、災害復旧事業の対象にならない小規模な林道等が、豪雨等により崩れて通行不可となっている。

(2) 本事業の目的

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、林産物の発掘を促進する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 岡谷市内の森林

(2) 対象者 岡谷市内に森林を所有する所有者

(3) 実施方法 ①は、森林所有者への補助事業 ②は、直営事業

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度) ①85ha (17ha/年) ②25 箇所 (5 箇所/年)

②令和 3 年度実績 ①13.29ha ②13 箇所 (委託: 1 箇所 強化 12 箇所)



「個別



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

国・県の補助事業の対象にならない森林や林道等に対し、市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、森林の適正な管理を図ることにより、森林所有者の負担軽減を図るとともに山の多面的機能を持続的に発揮させ、林産物の発掘を促進する効果があった。

(2) 継続性

(1) の効果が期待できる事から継続が必要。

(3) 普及性

市独自の市単独補助事業や小規模林道等修繕事業を取入れ、山の多面的機能を持続的に発揮させることで、地域住民に森林の重要性を啓発できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

支援金充当により、市内森林において 13.29ha の森林整備及び 13 箇所の小規模林道等修繕事業等を実施できた。

(2) 課題

今後は、県森林づくり県民税活用事業を有効に活用し、森林の持つ多面的機能を維持・増進させること、また、市民一人ひとりが恩恵をうけられるような事業も検討していきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林整備 17ha/年

小規模林道等修繕事業 5 箇所/年

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

諏訪市

No.	事業項目	事業名
	木を活かした力強い産業づくり	市単林道整備事業
事業費 2,200,000 円 (うち支援金: 1,387,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

・諏訪市における森林面積は 7,291ha であり、カラマツを主体とした人工林の面積が約半数を占めている。林道日向入山線を含む西山地域は諏訪市の森林面積の半分以上を占め、間伐材の生産や特用林産物の生産が盛んな地域であるが、それらの生産活動を担う林道において、施設の老朽化が顕著であり、また近年ゲリラ豪雨等の影響による路面の洗掘や法面の崩落等が小規模ながらも度々発生しており、林道施設災害復旧事業の対象とならない林道整備が課題となっている。

(2) 本事業の目的

・林道施設の整備事業を実施し、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくため林道機能の持続的発揮に資する。

事業内容

(1) 実施場所…諏訪市内林道 (別紙位置図)

(2) 対象者…諏訪市

(3) 実施方法…請負

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

林道扇平南峠線…事業目標延長 L=25.0m (令和 2～令和 4 年度) (改良工事 L=25.0m)

②令和 3 年度実績

・扇平南峠線…施工延長 L=16.0m (改良工事 L=16.0m)



事業効果

(1) 事業実施による効果

・林道の危険箇所が解消され、安全な通行が確保されることにより今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活性化が期待される。

(2) 継続性

・当該路線は、広く森林をカバーしているために多くの森林関係者が関与する場所であることから、大規模な通行規制が必要となる被害が発生する前に、適切な林道の整備を行うことで被災を最小限に留める及び被災しても早期の復旧が可能であることから、継続的な林業生産活動の確保が期待できる。

(3) 普及性

・地域における間伐材の生産促進や特用林産物の普及啓発を図ることができ、さらには森林整備等の意欲向上に繋がり、当該地域だけでなく森林所有者の整備事業促進へ寄与することが期待できる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

・林道機能の持続的発揮に資する林道施設の整備事業を実施したことにより、今後の間伐材生産等の計画的な森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりができました。

(2) 課題

・林道という性格上、特用林産物の生産期における施工は交通規制等の面で困難であることを考慮した工程の決定及び規制を計画する必要があります。

(3) 今後の取組方向

□事業を現行どおり継続する

・引き続き林道機能の持続的発揮のため、当該路線における未舗装の部分の早期完了や危険箇所の改修を実施し、森林整備の促進や特用林産物生産等の活動を安心安全に行っていくための基盤づくりへ取り組んでいきます。

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

茅野市

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	修景林間整備事業
2	森林を支える豊かな地域づくり	茅野市永明寺山公園森林整備事業
事業費 2,025,200 円 (うち支援金: 1,874,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当市の民有林では、年間 100ha 程度の間伐が進められているものの、依然として森林整備の進まない場所が多くある。特に、3ha 未満の小規模個人有林では、高齢化に伴う林業離れが深刻化しており、放置林の増加や森林景観の悪化を招いている。

また、近年では、増えすぎたニホンジカによる樹木の剥皮や幼木の食害等が深刻化しており、森林の公益的機能が失われつつある。

今後は若年層の林業離れが一層加速化すると見られ、山の境界を知る高齢者も徐々に減っていくことが予想される。

(2) 本事業の目的

- 1 森林に対する意識や関心を高めるため、地域住民が主体となって行う森林整備を支援する。
- 2 修景林間整備事業の事業効果等を周知し、良好な森林景観への意欲や関心を高め、森林整備の一層の推進を図る。

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

茅野市永明寺山公園は、永明寺山頂上付近に位置しており、遊歩道や滑り台、八ヶ岳等を望む展望台が設けられていることもあり、平日休日を問わず多くの市民が訪れる場となっている。また、公園内や周辺には樹木や林もあり、休憩スペースや遊び場など森林体験の場としても活用されている。

しかし、展望台が設けられている頂上付近の木は高齢で樹高が高く、展望台からの眺望を妨げていることから、地元区から眺望景観整備のための伐採を要望する声もある。

さらに樹高の高い木は倒木の危険があり、公園施設の保全や利用者の安全確保の観点から、樹木の管理が課題となっている。

(2) 本事業の目的

茅野市永明寺山公園が、利用者にとって安心安全でより良い森林体験の場となるように森林整備を行う。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成
 - (1) 実施場所 1 市内全域 2 事業実施箇所
 - (2) 対象者 地域住民等
 - (3) 実施方法
 - 1 地域住民等が行う藪払い等による修景整備に対しha当たり176千円を支援する。
 - 2 同事業実施箇所に看板を設置し、事業及び事業効果の普及を行う。
 - (4) 事業目標及び当年度事業量
 - ①全体計画 (H30～R3) 要整備面積：16ha
 - ②令和3年度実績 整備面積：4.39ha
実施箇所：市内7箇所
- 2 茅野市永明寺山公園森林整備事業
 - (1) 実施場所 茅野市永明寺山公園の展望台周辺
 - (2) 対象者 茅野市民
 - (3) 実施方法
競争入札により選定した業者へ委託する。
 - (4) 事業目標及び当年度事業量
 - ①全体計画 眺望及び安全管理上の支障となっているアカマツ20本を伐採
 - ②令和3年度実績 支障木・危険木の伐採 20本

(事業1)



(事業1)



(事業2)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成
 - (1) 事業実施の効果
 - 1 地域住民が主体となって森林整備に関わることで、森林に対する意識や関心を高めることができる。また、放置されていた雑木林等が除去されることで、良好な森林景観が創出され、野生鳥獣と人との適切な棲み分けが図られる。
 - 2 看板を目にした人が事業を知り、その効果を確認することで森林景観に対する意識や関心の向上につながる。また、事業に関心を持つ人が増えることで活用の可能性が広がる。
 - (2) 継続性
 - 1 複数の者が当該事業に関わることとなるため、事業実施後もその効果を維持するための自主的な取組が期待できる。また、良好な景観形成が図られることで、地域の誇りと愛着を再認識するきっかけとなる。
 - 2 看板を設置することで、不特定多数の者に事業効果等を周知することができる。また、事業を知らなかった関係者等に対し、同事業の活用を促すきっかけとなる。

(3) 普及性

1 道路や集落等に密接する森林において雑然とした状態が除去されることで、不特定多数の者が良好な景観を享受することができる。

2 森林整備を行うだけでなく、どういった事業により整備されたのかを明示しておくことで事業の効果がより分かりやすいものとなる。

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 事業実施による効果

公園周辺の森林整備を行うことにより、公園利用者が安心安全でより良い森林体験を行うことができる。

(2) 継続性

公園周辺の森林を整備することで、展望台からの眺望を改善しながら、利用者にとって安心安全でより良い森林景観や森林体験の場の環境整備に繋がり、また、枯損木による倒木等の事故を未然に防ぐ事もできるため、長期的に安全でより良い森林体験が見込める。

(3) 普及性

運動公園周辺の森林が整備されることで、多くの利用者が良好な環境で活動を行うことができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

(1) 目標に対する成果の状況

1 多くの人から道路沿いの森林が綺麗になったといった意見が寄せられている。また、雑木等を除去したことで道に日が差し込むようになるなど景観面においても一定の成果を上げることができた。なお、本年度はコロナウイルス感染症により、人が多く集まって行う地域住民による森林整備が難しく例年と比べて事業量が減少した。

2 看板を実施箇所にそれぞれ設置したことで、地域住民だけでなく関係団体等からも事業への問合せが増えた。

(2) 課題

コロナウイルス感染症により、本年度は事業量が大きく減少したが、本事業は0.05haと比較的小さい面積から対象としており、少人数及び短時間で行える作業についても補助金の対象としている。今後はそういった同事業の使いやすい部分についてもPRしていき、整備面積を増やしていきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

R 4 整備予定面積 10ha (予算 1,76 千円)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

2 茅野市永明寺山公園森林整備事業

(1) 目標に対する成果の状況

展望台からの眺望の支障となっていた樹木の伐採を行ったことで、遠方の山々を望む眺望が確保された。

また、樹高の高い木の伐採を行ったことで、遊歩道の安全についても確保され、より安全な森林体験の場とする事ができた。

(2) 課題

永明寺山公園の展望台付近にはなお樹高の高いものが多く、展望台からの眺望を妨げているため、今後、伐採した分については造林を図りつつ、運動公園内全体の立木について更新していく必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

今回の事業により茅野市永明寺山公園展望台周辺の立木については概ね伐採を行ったため。また、今後当面の間は、伐採した分の造林を図っていく必要があるため。

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

下諏訪町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	林道機能回復事業
事業費 1,419,000 円 (うち支援金: 608,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

下諏訪町の森林面積は 5,651 ヘクタールで、町土面積の 84.5%を占めている。災害に強い健全な森林づくりを目指し森林の整備を進めているところであるが、特に、民有林の整備が遅れており、手入れ不足の森林の荒廃が進んでいる。

(2) 本事業の目的

間伐を中心とした適切な森林整備を行うことにより、健全な森林を次世代に継承していく。

併せて間伐対象地の搬出間伐を推進するための条件整備により、搬出間伐面積の拡大と木材利用を進める。

事業内容

(1) 実施場所 林道東山田線

(2) 対象者 森林所有者、林業事業者

(3) 実施方法 林道改良工事として随意契約のうえ、工事請負により実施。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

施工延長: 100.0m 植生工: 700m²

②令和 3 年度実績

施工延長: 16m 植生工: 135.2m²



事業効果

(1) 事業実施の効果

林道改良による機能回復を図ることで、森林管理・施業のための人員及び資材・機械等の輸送の円滑化と間伐搬出による利活用の促進が図れる。

(2) 継続性

近年の局所的な集中豪雨等により本来の機能を発揮できない林道があることから、当該事業を継続して実施することにより、機能回復を図り交通の安全性及び施業の効率化がより図られる。

(3) 普及性

林道の機能回復を行い、林道があることによる効果を多くの利用者が認識することにより、森林の整備に関する意欲の向上と、森林づくり県民税の有効性を普及啓発することができる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

事業実施した結果、林道東山田線の切取法面の浸食防止・斜面固定化が図られ、かつ、車両通行の導線が確保されたため、大型輸送車両の通行も担保された。このことから、戦後間もなく植栽され、現在、醸成しつつあるカラマツ林の生産間伐の可能性が高まり、森林経営意欲の向上に寄与されたものと思慮される。

(2) 課題

未だ民有林の整備が進んでおらず、手入れが必要な森林は多い。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も引き続き事業を行い、民有林の整備を推進していく。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

下諏訪町

No.	事業項目	事業名
2	木を活かした 力強い産業づくり	木製ベンチ作製展示事業
事業費 143,000 円 (うち支援金 : 143,000 円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

下諏訪町の森林面積は 5,651 ヘクタールで、町土面積の 84.5%を占めている。災害に強い健全な森林づくりを目指し森林の整備を進めているところであるが、特に、民有林の整備が遅れており、手入れ不足の森林の荒廃が進んでいる。更に、森林整備の遅れに伴い、利用可能な森林が町内にあるにも関わらず木材の利用が進んでいない。

(2) 本事業の目的

木材資源を活かした地場産材の有効利用を促進し、それに寄与する森林整備の着実な推進を図る。

事業内容

(1) 実施場所

下諏訪北小学校、ハイム天白、コミュニティースペースにこっと
あすなろ公園、健康ステーション 各 1 基

(2) 対象者 施設利用者

(3) 実施方法 県産間伐材で木製ベンチを作製し公共施設等に展示・活用する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度) 作製個数 : 25 基

②令和 3 年度実績 作製個数 : 5 基



事業効果

(1) 事業実施の効果

森林整備が進まない要因の一つとして、発生する間伐材がなかなか利用されないことから、整備自体が進まない面がある。そこで、こうした間伐材をベンチとして有効活用することに

より森林整備の必要性を啓発するとともに、林地残材の減少、森林整備の推進に寄与する。

(2) 継続性

木製ベンチを一般利用者が多い様々な施設に設置することにより、身近な木材の良さを啓発する。継続的に公共的な施設に設置することにより多くの人に間伐材活用のPRを行い、設置場所や設置数の拡大・発展を図る。

(3) 普及性

公園などの公共施設に展示・活用することにより、木材の良さと森林の恵みを多くの利用者に知ってもらう。これにより、森林整備の必要性と木材利用の機運を高めるとともに森林づくり県民税の有効性を普及啓発する。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

事業実施した結果、地域住民に県民税の「森林づくり推進支援金事業」を広く知ってもらうことが出来た。このことから、住民の間伐に対する意識の向上に寄与したものと考えられる。

(2) 課題

森林の重要性に対する意識がまだ低いと思われるため、引き続き当該事業を実施する必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も木材資源を活かした地場産材の有効活用を促進し、それに寄与する森林整備の着実な推進を図る。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない

令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	富士見町
------	------

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松枯損木伐倒処理
事業費 1,199,000円 (うち支援金: 1,027,000円)		

事業目的

1) 地域の森林・林業の現状と課題

松林は森林資源のほか、生活環境の保全にも重要な役割を果たしているが、隣県松くい虫の激甚地域である。本県の入り口となる富士見町において、松くい虫被害を拡大させないことが未被害地域となる諏訪地域への進入防止となるため町内での繁殖・定着を防止する。

2) 本事業の課題

松枯損木の伐倒処理を行い、マツノマダラカミキリの繁殖、定着を防ぐ。

事業内容

1) 実施場所 富士見町 田端地区・下蔦木地区・上蔦木地区・瀬沢地区
・乙事地区・富士見台

2) 対象者 富士見町

3) 実施方法 伐倒処理

4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成30年度～令和4年度)

発生量に応じ全量処理を実施する方針

②令和3年度実績 17本 (29.4 m³) を伐倒処理



処理前



処理後

事業効果

1) 事業実施の効果

松枯損木の伐倒処理により松くい虫の繁殖、定着を防止できる。

2) 継続性

健全な松林を維持することで松林の保護に繋がる。

3) 普及性

地域一体での取り組みを期待する。

事業の検証及び評価

1) 目標に対する成果の状況

早期に松枯損木を伐倒処理することで、近隣より富士見町に飛来するマツノマダラカミキリの定着・繁殖を防ぎ、松くい虫の発生を抑えることができた。

2) 課題

激甚地帯である山梨県は小さな河川を挟んで当町と近接しており、被害が当町にいつ広がってもおかしくない状況であるため、未然の防止が必要。

3) 今後の取り組み方向

■事業を現行どおり継続する。

監視活動を続け松枯損木を発見した場合については伐倒処理を行い、未然の対策を実施してゆく。

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	原村
------	----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業
事業費		202,400円 (うち支援金: 202,400円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村は、観光を軸とした山岳高原リゾート構築のために、森林資源を活用した観光地の魅力向上が不可欠である。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

現在、周辺をビューポイント看板設置及び信玄の棒道等の整備を行っているが、加えて周辺の森を住民・観光客の憩いの森としての整備を行っていききたい。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 原村村有林整備 原村村有林

(2) 対象者 散策をする住民及び一般観光客

(3) 実施方法 森林整備を行い、住民が憩える森の整備をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 (2019) ~令和 4 年度 (2022))

信玄の棒道から八ヶ岳山麓を見渡せるように間伐だけでなく森林整備を行う。また、信玄の棒道が狭いので作業道として活用し、最終的にウッドチップを敷均し、棒道の景観を良くする。

②令和 3 年度実績

信玄の棒道沿いの令和元年度に間伐した 1 h a 場所にレンゲツツジ 1 2 8 本を植栽



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

住民・観光客が気軽に入ることのできる憩いの森を整備する。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

信玄の棒道の整備は完了しているが、周辺一帯の森林には未整備の処が多い。人が気軽に入る森を整備するため、継続的な整備が必要。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

ガイドマップ等に記載されているが、足を踏み入れるには、少なくともそこを歩けば何かがあるという形で見える物を八ヶ岳に選定し、観光名所にしていきたい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

レンゲツツジを植えたことによって、花が咲けば景観が良くなり従来の殺風景な何もないものより景観が良くなり森林整備も進んだ。

(2) 課題

景観維持のために定期的な手入れが必要であること。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も同じく八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備を行っていく。レンゲツツジの植栽を続けて眺望森林として整備していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

原村

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備事業
事業費		346,500円 (うち支援金: 337,600円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村は、観光を軸とした山岳高原リゾート構築のために、森林資源を活用した観光地の魅力向上が不可欠である。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

現在、周辺をビューポイント看板設置及び信玄の棒道等の整備を行っているが、加えて周辺の森を住民・観光客の憩いの森としての整備を行っていききたい。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 原村村有林整備 原村村有林

(2) 対象者 散策をする住民及び一般観光客

(3) 実施方法 森林整備を行い、住民が憩える森の整備をする。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 (2019) ~令和 4 年度 (2022))

信玄の棒道から八ヶ岳山麓を見渡せるように間伐だけでなく森林整備を行う。また、信玄の棒道が狭いので作業道として活用し、最終的にウッドチップを敷均し、棒道の景観を良くする。

②令和 3 年度実績

原村村有林の御山マレット場北側の土捨て場の景観が悪いため、地域住民と協力して植栽を行う。土捨て場は土質が悪いため植栽個所に穴を掘り腐葉土を入れる必要があるので整備を行う。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

住民・観光客が気軽に入ることのできる憩いの森を整備する。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

信玄の棒道の整備は完了しているが、周辺一帯の森林には未整備の処が多い。人が気軽に入る森を整備するため、継続的な整備が必要。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

ガイドマップ等に記載されているが、足を踏み入れるには、少なくともそこを歩けば何かがあるという形で見える物を八ヶ岳に選定し、観光名所にしていきたい。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

村有林の景観が良くない場所が、掘削し腐葉土を入れ地域の方が苗を植えていただいたことで、今後木が育ち本来の森の姿に戻っていけるような基盤を作り、景観が良くなっていくことが想定される。

(2) 課題

景観維持のために定期的な手入れが必要であること。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も同じく八ヶ岳山麓における景観形成のための森林整備を行っていく。レンゲツツジの植栽を続けて眺望森林として整備していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

1 趣旨

近年の山地災害の多発化を踏まえ、災害時の迅速な対応を図る応急対策や県民生活に直結する保全対象に近接した重要な里山において、防災・減災のための応急対策工事、森林整備を県直営により緊急に行うことにより、県民生活の安全・安心を確保する。

2 事業の必要性

(1) 応急対策工事

台風による豪雨等により、山地災害が発生するリスクが高まりをみせており、家屋、生活道路やライフラインに影響がある災害が発生した場合、県民生活に直結する事態であり、緊急に対応する必要があるため。

(2) 森林整備

里山に近接し、保安林未指定地だが指定が見込まれる森林において、台風に伴う暴風雨等により倒木や危険木が数多く発生している。

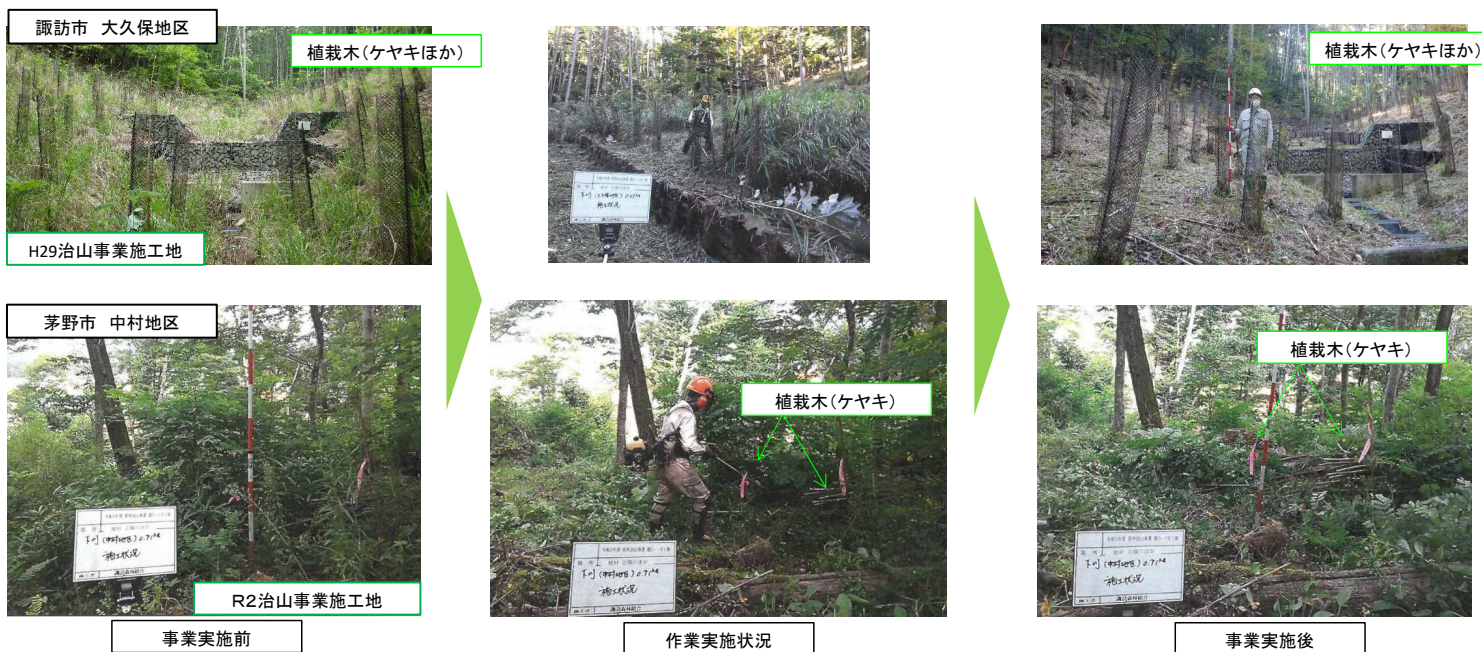
防災・減災の観点において二次災害を防止するため、事前に森林整備を実施する必要があるため。

3 事業主体 県

4 事業費

事業区分	箇所名	事業内容	事業費(千円)
森林整備	原村ほか 立場川ほか	下刈1.67ha	737
応急対策工事	岡谷市 小田井沢	流木・土砂除去	7,150
応急対策工事	岡谷市 小洞沢	廻排水工70m設置	223
応急対策工事	茅野市 高部	監視カメラ・雨量計等設置	539

令和3年度 防災・減災対策緊急治山事業【諏訪郡原村ほか 立場川ほか】



【概要】

工事内容: 下刈1.67ha

※ 治山事業で植栽した3地区の下刈を実施し、災害に強い森林づくりを行った。

令和3年度 防災・減災対策緊急治山事業【岡谷市 小田井沢】



【概要】

災害名 : 令和3年8月豪雨災害

工事内容: 流木除去ほか

※ 小田井沢上流で山腹崩壊が発生し土石流が流下、不安定土砂・流木が堆積した。このため、次期降雨で下流: 保全対象に流下しないよう撤去工事を実施。

令和3年度 防災・減災対策緊急治山事業【岡谷市 小洞沢】



【概要】

災害名 : 令和3年8月豪雨災害

工事内容: 廻排水工70m設置

※ 山腹崩壊が小洞沢沿いで発生し沢を閉塞したため、次期降雨で堆積土砂が下流: 保全対象に流下しないよう廻排水工を設置。



令和3年9月豪雨災 高部集落被災状況



監視カメラ・雨量計 設置



監視カメラ夜間撮影賞照明 設置



下馬沢川支流

令和3年9月豪雨災 下馬沢川支流 土石流発生状況



砂防ダム

下馬沢川本流



下馬沢川本流

事業実施前

事業実施後

【概要】

災害名 : 令和3年8月豪雨災害

工事内容: 監視カメラ・雨量計等設置

- ※ 次期降雨に備え、下馬沢川本流を監視する24時間対応の監視カメラを設置。同時に雨量計等を設置し、スマートフォン等で確認できるよう通信環境を整備。



月刊

ふらざ 諏訪



巻頭特集 / 映画の生み出す可能性を信じて
諏訪地方観光連盟 諏訪圏フィルムコミッション

忘新年会・テイクアウト特集 / 宴の心得

おうち時間特集 / 冬の快適おうち時間

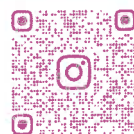
ペット特集 / ペットとの生活 冬期講習特集 / 勝負の冬!

[喪中はがき・寒中お見舞い印刷] 注文承り中 ~喪中はがきの投函は12月初めまでに~

[年賀状印刷] ~投函は12月25日までに~

[味噌ラーメンの美味しいお店] コクと旨味がやみつきになる!

ふらざ公式 Instagram



PURAZA.SUWA

2021 NOV vol.359

配布エリア

岡谷市、下諏訪町、諏訪市
茅野市、富士見町、原村

81,000部発行

無料各戸配布 78,823部
辰野町置本・他 2,177部

✉ puraza@op-onoue.co.jp



出早神社の紅葉

撮影 | 鮎澤 毅

森林税を使って“里山とつながる暮らし”始めてみませんか

長野県諏訪地域振興局
からのお知らせ

身近な里山を活用した地域づくりを
「森林税」が応援します

里山における活動への森林税活用例のご紹介

森林環境教育・自然保育など

「学校林」の整備、「信州やまほいく」認定園の活動フィールド整備、指導者への謝金の支払、教育キットの購入、里山遊歩道の整備などが実施できます。



支援内容(例)	補助率
・支障木伐採等(森林整備)	9/10
・指導者謝金、教育キットの購入 ・林内活動用具 (ロープ、ヘルメット、のこぎり等) ・傷害保険、テキスト購入等	10/10
・遊歩道の整備	3/4

地域主体の里山の整備など

間伐、植栽等の森林整備や安全講習会など、地域が主体的に取り組む里山整備の活動が実施できます。



支援内容(例)	補助率
・間伐、植栽等(森林整備)	9/10
・指導者謝金、傷害保険 ・林内活動用具 (ロープ、ヘルメット、のこぎり等) ・車両借り上げ、燃料代等	10/10
・チェーンソー、チップパー等	3/4

里山資源の利用(新生産、きのこ栽培、炭焼き)など

里山の資源を利用した薪の生産・加工、きのこや山菜の栽培、炭焼きなど地域のニーズに合わせた活動が実施できます。



支援内容(例)	補助率
・広葉樹林の伐採等(森林整備)	9/10
・指導者謝金、傷害保険 ・林内活動用具 (ロープ、ヘルメット、のこぎり等) ・きのこ種駒、ドリル、燃料代等	10/10
・チェーンソー、簡易ウインチ、薪割り機、炭窯の加工等	3/4



- ・支援内容(例)は一例です。組み合わせて活用することも可能です。
- ・利用いただく制度の中には、あらかじめ活動する地域を「里山整備利用地域」として認定を受ける必要がある場合があります。
- ・詳しい内容については、以下へお問い合わせください。

長野県諏訪地域振興局 林務課 普及林産係

☎:0266-57-2920 mail:suwachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp